

高3「決める」実習に行ってきました！

☆高3の『決める実習』の意味は？

各学年の実習のテーマは、高1「知る」、高2「挑戦する」、高3「決める」です。

高3は、本人の「ここで働きたい。(通いたい)」という気持ちや、保護者の「ここに行ってほしい。」という願いをもって実習に臨んでいます。採用や利用の可否は、実習先が判断します。よって、「決まる」のは結果なので、生徒一人ひとりの「豊かな生活(自分に合う生活)」について、本人・家庭・学校でイメージを共有したりすり合わせたりしながら、進路先や卒業後の生活について「決める」プロセスを大切にしています。

家庭や学校で普段から取り組めていないことを、いきなり実習先で行うことは難しいです。日々の積み重ねでつけた力を、場所や人が変わってもできるかどうかを試すことができるのが実習です。

今回の実習で、どの生徒も自分のもつ良さや日頃の力を発揮しました。一方で、課題も頂きました。これから課題を意識した生活をして、10月の最後の実習に向けてさらにレベルアップすることを目指していきます。

以下は、高3実習報告会の資料の1部抜粋です。

	活動内容	成果	これからがんばること
Aさん (生活介護事業所で5日間実習)	体操やカラオケ、ピンゴルフなどの活動に、職員さんとやりとりをしながら取り組んだ。 	職員さんや利用者さんに笑顔で挨拶や返事のハイタッチができた。 	これからも色々な人と、手を伸ばして挨拶や返事をする。 
Bさん (B型事業所で10日間実習)	- 商品の梱包 - 部品の組み立て - 商品のシール貼り 	やり方を守って、ていねいに作業に取り組むことができた。 	- 時間を意識して行動する。 - 分からないときにはすぐに相談する。 



進路先や福祉事業所の情報を知りたいけど...



保護者の皆様から「事業所のことがよく分からない。」「事業所のことを知りたい。」といった御相談をいただきます。そこで、少しでもお役に立てる情報をお伝えします。福祉事業所の情報収集には、いくつか方法があります。

- ① 静岡市福祉事業所一覧表(5月にコクーにて一斉送信しました。)※静岡市以外の事業所も各市町のホームページで確認できます。
- ② ホームページ(各事業所のホームページを閲覧する。)
- ③ 校内の進路コーナー(1F 昇降口と2F スロープ付近に事業所の情報等を掲示しています。)
- ④ 事業所見学(実際に見学する。)

その他には、相談支援事業所の相談員さんや学校の担任に聞いてみてください。担任から進路指導課に確認して情報をお伝えします。以上が情報収集方法の例ですが、「話を聞くのと、実際に見たのはやっぱり違う。」と話される保護者の方々がいました。気になる事業所は見学することをお勧めします。※見学を希望される場合は、担任までお知らせください。(指定の見学希望票あり)